

## 社 会 保 障

近年の社会福祉の動向は社会経済の変化によって福祉ニーズが質的に変化、多様化してきている。すなわち、従来は年金の増額、施設の増設という経済的、物質的な充実に向けられてきたが、最近はこれらに加え、心の福祉の展開が求められるようになり、県では県政の重点施策として「地域ぐるみ福祉の推進」「児童福祉の充実」「老人福祉の充実」を図っている。

県内の福祉施設数は1,556か所で、前年に比較して34か所増加し、特に児童福祉施設は20か所の増加となった。また、生活保護法による平均被保護世帯数は14,436世帯で、平均被保護実人員は26,645人で、前年度と比較すると、それぞれ1.4%増、0.5%減となっている。

保護費は277億円で、内訳をみると医療扶助が最も高く150億円(54.3%)、生活扶助96億円(34.6%)となっている。

### 99. 社会福祉施設数

年	総 数	(うち)	(うち)	(うち)	(うち)	(うち)	(うち)	(うち)
		保 護 施 設	老 人 福 祉 施 設	身 体 障 害 精 神 薄 弱 者 援 護 施 設	身 体 障 害 精 神 薄 弱 者 援 護 施 設	児 童 福 祉 施 設	婦 人 保 護 施 設	母 子 福 祉 施 設
昭和55年	1 347	7	77	11	15	1 188	2	1
56	1 415	7	88	15	17	1 228	2	1
57	1 460	7	98	15	21	1 254	2	1
58	1 492	7	102	16	23	1 275	2	1
59	1 522	7	110	16	25	1 286	2	1
60	1 556	7	116	16	29	1 306	2	1

### 100. 生活保護法による保護状況

年 度	平 均 被 保 護 世 帯 数	平 均 被 保 護 実 人 員	保 護 費 (百 万 円)			保 護 率 (人 口 に つ き)	
			計	(うち) 生活扶助	(うち) 医療扶助		(うち) 教育扶助
昭和55年度	13 767	27 297	21 101	7 401	11 669	364	5.8
56	13 726	26 881	22 794	7 935	12 619	382	5.6
57	12 859	26 852	24 092	8 482	13 157	387	5.5
58	14 033	26 640	24 689	8 775	13 261	385	5.3
59	14 230	26 766	26 440	9 168	14 402	382	5.3
60	14 436	26 645	27 714	9 586	15 060	376	5.2

注) 社会福祉施設数、生活保護法による保護状況は厚生省報告例による。社会福祉施設数は各年10月1日現在。

資料 厚生省大臣官房統計情報部「社会福祉施設調査報告」, 「社会福祉行政業務報告」